

新年 おめでとうございます。 昨年の12月はじめに、夜須高原にて指導員講習会を実施し、65名の新指導員が誕生しました。これからその指導員が活動できるように、環境を整えられたいいなあとと思っています。また、小さな子供達が生きものに興味を示し、大切にしような活動を積極的にしたいいなあとぼーっと考えています。会員の皆さんと一緒にすすめていけたらと思います。

視点を変えてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○㊶

コンクリートの道端のちょっとした隙間や、ブロック塀との境などでよく見かける草。左の写真は、オニタビラコとかでしょうか。いわゆる『ど根性○○』。確かに、そんなところによくまあ根を下ろして芽を出したねと感心させられます。そんな植物は、割によく見かけますが、下右の写真のタカサゴユリは、1月8日に撮影したものです。昨年の11月ぐらいに蕾を付けているのに気づき、この寒いのにどうするのと思っていました。年が明けたころ、しっかり咲いていました。『ああ勘違い』というのかわかりませんが、本来夏の花のはずなのに、この真冬に花を咲かせてしまっていました。背は低く、花も一つだけで、夏のあの勢いはありませんが、花は結構しっかりしています。でも、訪れてくれる虫はいないかな？ なんだか淋しい感じです。

植物の世界、種子一粒一粒から発生する命は、置かれた環境や状況に対し、精一杯頑張っちゃっているのでしょう。奥が深いというか、計り知れないというか、すごいと言えぱすごい世界です。 <さんじゃく>



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
 (NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
 代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
 編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
 〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
 ハイツ中村401
 自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765
 URL : <http://www.kurabird.com/>
 掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 92★

春日公園で、冬を、ゆっくりと観察します。

★日時 1月19日 (土) 集合10時～解散12時

第3日曜日の午後から第3土曜日の午前中に変更。

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

1/20日(日) 2/17(日)
天拝山探鳥会(筑紫野市)
時間：9:00~12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026(重松尚紀)

1/27(日) 2/24(日)
久末ダム探鳥会(福岡町)
時間：9:00~12:00
集合：久末ダム多目的広場横
駐車場(管理事務所下)
問合せ：0940-33-7846(高原和幸)

2/3(日)
今津探鳥会(福岡市西区)
時間：9:00~12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005(神園道男)

2/9(土)
大濠公園探鳥会(福岡市中央区)
時間：9:00~12:00
集合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827(森健児)

2/10(日)
和白海岸探鳥会(福岡市東区)
時間：9:00~12:00
集合：JR和白駅前公園
問合せ：092-606-0012(山本廣子)

2/5(火)
県営春日公園(春日市)
時間：10:00~12:00
集合：旧売店前
問合せ：092-592-3423(小野仁)

日本野鳥の会 筑後支部

1/27(日)
膿施山公園(みやま市)
時間：9:00~
集合：公園内すいせん橋
問合せ：090-7446-9047
(野田達行)

福岡植物友の会

2月は直接お問合せください。
問合せ：佃 昇(092-662-2983)
参加は有料 詳細はお問合せ下さい

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

2/2(第2土曜日)
自然観察会(植物・昆虫・野鳥など)
集合：九州歴史資料館駐車場
時間：9:30~12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人200円
参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。
ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

観察会や様々な生きもの情報を載せています



ハチノミを食べるハシロビロ



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子



カモたち・三国 松永

和白干潟を守る会 主催

1/26(土)
守る会定例会議
時間：10:30~
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012(山本廣子)

1/26(土)
クリーン作戦と自然観察会
時間：15:00~
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460(田辺スミ子)

2/17(日)
記念講演
講師：日野文雄氏(民俗学研究者)
時間：14:30~
会場：くるめウス(予定)
問合せ：
<http://kurumenoshizen.net/>

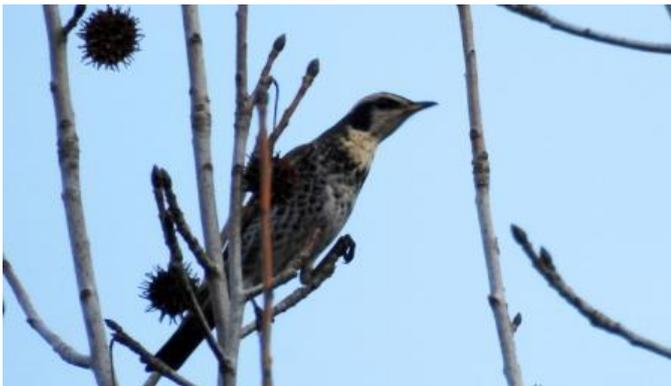
主催：久留米の自然を守る会
尚、13時30分から同じ会場で総会を、
また、講演会終了後懇親会(ゆめタウン予定)を行う予定です。

2018年12月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、12月1日(旧暦10月24日)～12月31日(旧暦11月25日)までのデジカメ日誌です。



12月3日(旧暦10月26日) 筑紫野市天拝坂
コマユミの実である。小真弓。マユミは枝がしなやかなところから弓の材料だとか。この木はどうであろうか。ニシキギによく似た実で、枝に翼が無いだけだ。



12月4日(旧暦10月27日) 春日市県営春日公園
今年は、ツグミが少ないようだ。今冬、初認以来久しぶりに見た。昔は霞網などの密猟で、大量に焼き鳥にされた悲しい過去があるので、姿が少ないと心配になる。



12月13日(旧暦11月7日) 筑紫野市天拝坂
道路わきの植え込みに40羽ほどのスズメを見た。時折地面で採餌している。この時期のスズメを群雀(むらすずめ)と呼ぶ。群れることで厳しい冬をやり過ごしている。



12月4日(旧暦10月27日) 筑紫野市天拝坂
朝、北窓に虹が立っていた。高い方の枯れ木が丁度磁北の方向である。虹の彼方には何があるんだろうね。



12月8日(旧暦11月2日) 筑紫野市天拝湖
来月のガンカモ調査にむけて様子を見に行った。湖の北東面周回道路沿いの開発工事は続いている。しかし魚付きのカシの樹の下にはオシドリの子が50羽はいるようだ。ただ、敏感にすぐ飛んで移動していた。



12月25日(旧暦11月19日) 筑紫野市天拝坂
アゲハの幼虫である。29日には姿が見えなくなっていた。理由はわからない。10月ごろの幼虫はその後蛹化したかどうかは生きてはいないようだし、成虫に羽化できるのは、この時期、特に大変なことのようなのである。

くすのき 2019年1月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園自然観察会 (2018年12月15日)

晴れた日で、穏やかな冬、公園とその周辺の川と池を巡りました。顔みしりの野鳥好きの方も一緒に、3名で散策しました。

冬鳥のツグミ、シロハラ、アトリが目立ちました。公園そばの牛頸川では、カワセミの探餌の様子やスズメの小さな群れの動きを観察。ため池では、オシドリの群れ(+13)、アオサギ、オオバン、カルガモを観察。

今、サザンカがあちこちで満開、花の中心には水滴のような蜜、メジロの好物のようでした。そばにはレンギョウの黄色い花がぽつぽつと咲き始めていた。その一方、刈り込まれたドウダンツツジの紅葉も目立ちました。

ジョウビタキが最後に出現。それから、先日ある会員からケヤキは、枯れ葉と種と枝先がくっついて落ちる、落枝という現象を聞いていた。そういう目で落葉を探した。ケヤキの周りに沢山落枝を見つけて、気分上々でした。田村耕作



会員、渋田和美さんからの投稿

今日見つけた素敵な一枚！ケセランパサラン？

と思いつつ近づき(笑)、人工物か？と手に取って見たら、種！ ガガイモでしょうか？よくわからないのですがね。

2018/1/30 福津市ほたるの里にて kazumi shibuta



◎こんな記事を見かけて、折り葉という言葉に、目が止まりました。

2019. 1. 3 朝日

「折り葉」のアーティスト

ひと

わたなべ よしひろ
渡邊 義紘 さん(29)



葉の散る初冬は、わくわくする。拾った葉っぱが自分の手の中で大好きな動物になるからだ。

クヌギの葉一枚で折る動物のオブジェ「折り葉」を作って17年になる。「はぁー」と表面に息を吹きかけて湿り気を与え、指先で優しく挟んで折り目をつける。葉脈は背骨やしわに、葉柄はしっぽや鼻に。黄金色のキリンやカバなどが10分ほどできあがる。

落ち葉が手に入る季節限定だ。熊本市内の自宅の8畳間で、パソコンでアニメを流しながら手を進める。手本は見ない。

3歳のころ、自閉症の傾向があると医者に言われた。発語の遅れはあったが、好きなものははっきりしていた。昆虫を一日中探し、

よその猛犬を手なずけて飼い主を驚かせる。たくさん動物を見せてあげたいと、母仁子さん(71)は図鑑を与え、全国の動物園を訪れ、恐竜映画を見に行った。「彼の頭の中には図鑑があるんです」

10歳で話し始め、菓子の包み紙で動物を作るようになった。校庭のクヌギの葉で折ったのは中学生のころ。美術関係者らの目に留まり、展覧会への出品を始めた。海外的美術館からも作品を購入したいと声がかかる。はさみで作る繊細な切り絵も評価が高い。

「どうぞ」。元気に差し出した手のひらに、ちよこんと新年の干支のイノシシ。遊びの時間を惜しむようにすぐに別の葉を折り始めた。

文・柴田菜々子 写真・金子淳

会員の皆さん、「折り葉」という言葉を聞いたことがありますか。今年1/3（水）の朝日新聞に上の記事が掲載されていました。この記事を読むと、落葉、枯れて落ちた葉を折り紙の紙という材料として用いて、いろいろな生きものを生み出すことのようにです。こういう分野があるんだと、私は初めて知りました。感激しました。いつか、本物の折り葉の生きものを見てみたいですね。

久しぶりの九州自然協議会に参加して

堀 謙治

福岡・佐賀・熊本の三県合同「自然観察指導員講習会」の熱も冷めない二週間後の12月15・16日に、熊本県球磨川で「荒瀬ダム」跡と鹿の食害を観察する「九州自然協議会」に本当に久しぶりに参加してきました。記憶に残っていたのは、冬の九重でマンサクの花に積もった雪を「雨ガ池」付近で見たのが、最後の参加でした。もう十数年前だったようです。

今回参加の動機は、一緒に自然観察会をしているK女史から故郷から近くの「荒瀬ダム」跡の観察会に是非とも参加したいので、車で行くのなら一緒に連れて行って欲しいとお願いされたこと、鹿肉の刺身やボタン鍋などのジビエ料理が期待されること、ダム撤去後の自然環境の復元、鹿の食害の実態に興味があったこと等です。一番強かったのは食欲でした（笑）。

道の駅さかもとに集合したのは約30名で、最初は八代付近の展望の良い所で、鹿の食害を観察しました。外来種の「ツルニチソウ」に毒があるので、食べられずにはびこっていました。

温泉に入った後は球磨川添いの木造の古い三階建て旅館「鶴の湯」でしたが、残念ながらジビエ料理は出ませんでした（まぼろし）。参加者は寝袋持参で、火鉢があちこちに置いてありました。福岡県からは北九州から1人、福岡市から4人（うち2人は講習会の参加者）の合計5人でした。

二日目は、荒瀬ダム跡やその上流に残っているダム付近を観察しました。自然の復元はなかなか難しいものだと思います。来年は鹿児島県で開催されますので、ふるって参加してください。



観察中の報告者



参加者集合



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆ 会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2018年度会費が未納の方、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

◆◆◆定例会に参加してみませんか?◆◆◆

次回の定例会は、平成31年 2月8(金)午後6時より事務局で行います。2019年2月号の原稿は、2019年2/5(火)届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆◆編集後記◆◆◆ 2018年12月の定例送会会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加。

1日の天気予報、曇り。毎年、初日の出をどこで迎えるか、混雑具合と自分の体力具合と相談。それに天気の具合。迷った末、昨年と同様に、能古島の海岸に決めました。元日、渡船は始発が7時15分のために、船上から東の空を見ていると、朝焼けがうっすらとはじまっていた。7時25分能古島到着。そばの海岸に移動。波打ち際にはイソシギ1羽が打ち寄せる小さな波を避けつつ、採餌中。福岡タワー方向が橙色に染まり、運よく雲の裂け目から初日の出を拝みました。

平穏な日々が続く2019年であって欲しい。

